

# 経営と顧客視点からみた 「みちのくEMS規格改訂のポイント」

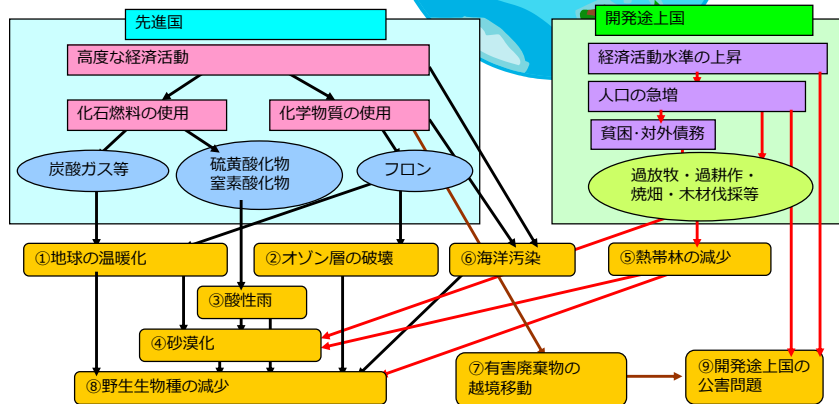


みちのくEMS認証機構事務局  
NPO法人環境会議所東北  
2016年10月7日

## 地球環境問題



### 地域環境問題



## 地域環境問題

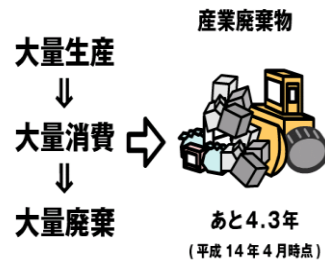
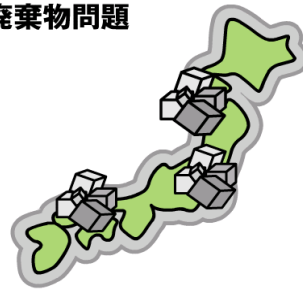
### 地域環境問題

#### ■ 典型7公害

大気汚染、土壌汚染、水質汚濁、  
騒音、振動、悪臭、地盤沈下



### 廃棄物問題



Copyright © MIEコンサルタント All Rights reserved

## ISO14001 環境マネジメントシステムモデルの誕生

1992年ブラジル・リオで世界ではじめて地球環境問題をテーマとした地球サミット（地球環境会議）が会されました。世界中から国家代表や経済界代表が参加して地球環境問題が議論され行動計画「アジェンダ21」が採択されました。

この「アジェンダ21」をベースに1996年9月に制定されたのが、ISO14000s(シリーズ)『環境マネジメントシステム規格』です。ISO14001は、「環境マネジメントシステム (EMS : Environmental Management System)」を定めた仕様です。日本では、同年10月にJISQ14001が制定されました。(日本語版)

ISO全体がMSSとなり、ISO14001:2015と改訂されました。

世界が本格的に「環境」に向き合って、まだ24年しかたっていない

ISO 1 4 0 0 1 認証取得状況 (日本)

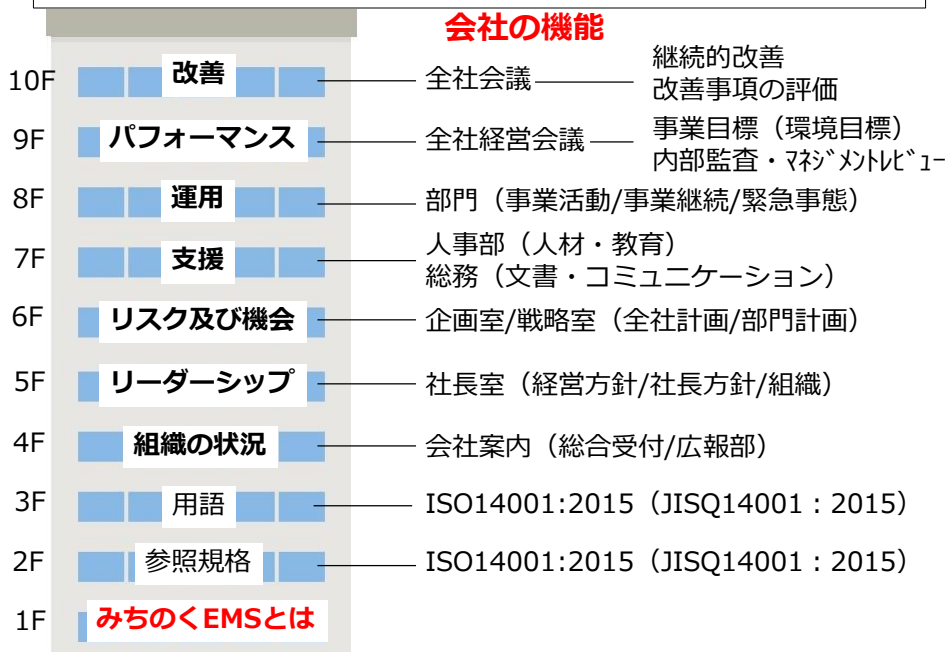
JAB : 1 7 , 6 9 8 件 (2016年9月末現在の適合組織数)

Copyright © MIEコンサルタント All Rights reserved



(4) 世界共通の手法 (ISO14001互換のPDCAスキームを採用した目標管理手法・第三者認証) の採用により、行政や大手取引先のグリーン調達・環境配慮要求基準に対応できる。

## ISOタワーのご紹介 ISO14001:2015



## みちのくEMS規格改訂の狙い

前提：ISO14001：2015が改訂された

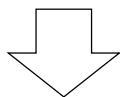
1. 事業に環境マネジメントを統合する
2. みちのくEMSの成果
  - 1) 環境パフォーマンスの向上（事業活動の改善）
  - 2) 順守義務（コンプライアンス）
  - 3) 環境目標の達成（本来業務における環境目標）

## 4. 組織の状況

経営方針/社長方針 ⇒ **会社案内**  
**事業計画**

みちのくEMS 構築・認証の目的と成果

⇒入札の条件、取引先の要求、コンプライアンス  
人材育成、経営の改善、社会貢献

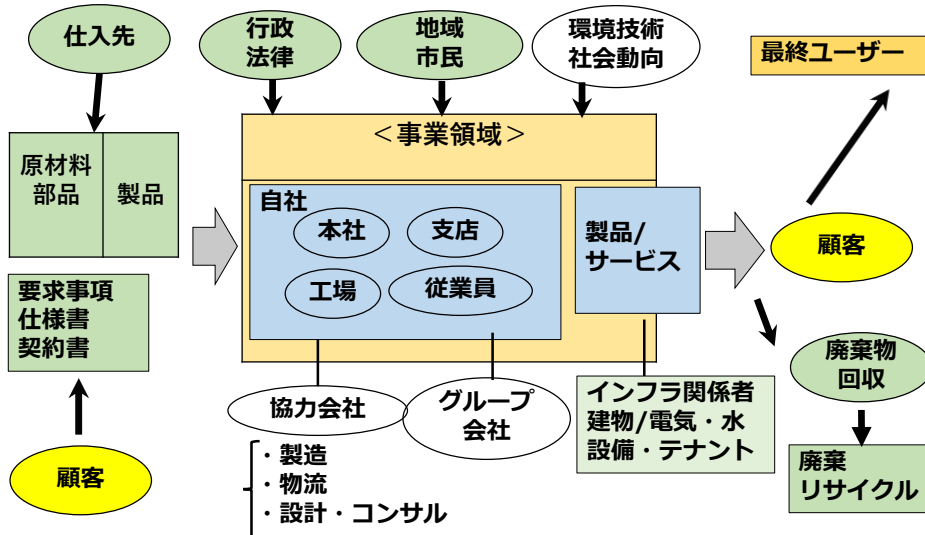


**わが社を取り巻く課題**

⇒景気、人材、技術  
顧客、従業員、設備

## 4. 組織の状況

### 利害関係者のニーズと期待



## 5. リーダーシップ

- ・ 事業目的とみちのくEMSの成果⇒**説明責任**
- ・ **事業活動の中で、みちのくEMSを展開する**
- ・ 事業部・管理部が役割責任を果たす  
従業員は成果に貢献する  
⇒必要な役割・責任を定める
- ・ 環境方針を作成する = 事業内容との整合性

コミットメント> 汚染の予防・**環境保護**・順守義務

## 6. リスクと機会

ISOとは— **リスクマネジメント** ⇐ **予防**

**リスク** — 起こってほしくないこと

- ・ビジネス上の不利—入札・指名
- ・法違反
- ・環境事故
- ・設備・技術等の老朽化
- ・**環境汚染**

**機会** —

- ・新たなビジネスの展開
- ・社会的評価
- ・従業員のマインドの向上
- ・事業プロセスの改善
- ・**有益な環境側面**

## 6. リスクと機会

経営（事業）からみた

- ・ **リスク** 環境対応できない活動・製品・サービス
- ・ **機会** 顧客満足度、優位性、評価、ビジネス拡大

事業活動からみた環境との関わり

- ・ **リスク** (汚染／負荷となる活動  
資源・エネルギー・生態系・廃棄物)
- ・ **機会** (有益な取組・製品・サービス)

経営的立場から戦略的に取り組みたいこと

→ **環境目標**

## 6. リスクと機会

従来 of 環境活動（継続）

- ・ 事業活動 → 環境側面の把握
- ・ 地球／地域環境への影響評価
- ・ 著しい環境側面 → **環境目標 1**
- ・ **環境目標 2** → 事業活動の中で実施する
- ・ 順守活動

## 7. 支援

- (1) 必要な資源を提供する  
人的・インフラ・技術・情報・資金など
- (2) **力量・認識**  
**仕事の中で必要な力量—資格/経験**  
環境の知識  
監査能力  
マネジメント能力
- (3) **コミュニケーション**
  - ・ **情報公開**
  - ・ 情報の周知・共有

## 8. 運用

### (1) 活動の計画と管理

- ・ **事業活動と環境**  
省エネ、省資源、リサイクル 等
- ・ **環境目標**
- ・ **順守状況**
- ・ 著しい環境側面

### (2) 外部委託 . . . 協力会社との関係強化 コミュニケーション

### (3) **緊急事態**

- 1) 想定外を無くする
- 2) 緊急対応の手順→本当に有効に機能するか
- 3) 訓練

## 9. パフォーマンス評価

### (1) 運用状況の評価

進捗状況の管理 → 何時「手」を打つか  
**<基準>**

### (2) **内部監査**

- ・ **マネジメント・システム全体の評価**
- ・ **運用状況（部門）の評価**
- ・ 現場の「声」/実情/提案



## 9. パフォーマンス評価

### (3) マネジメントレビュー

事業目的／みちのくEMSの成果  
環境目標の達成  
順守の確認

⇒達成状況に満足できるか

- ・適合性→仕組み・みちのくEMS規格など
- ・妥当性→取組範囲・役割・責任
- ・有効性→成果

⇒**課題・必要なアクションの指示**

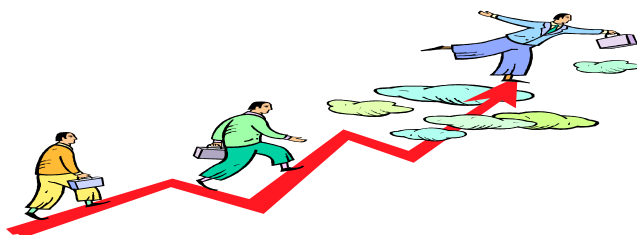
## 10. 改善

(1) 運用状況における不具合（不適合）への  
対策とその改善状況、再発防止

- 1) 不具合・インシデントを特定（事実の確認）
- 2) **修正・緊急対応 → 本当に有効に機能するか**
- 3) 原因の追求
- 4) **再発防止**

(2) 継続的改善

業務プロセス、運用状況の改善



絶え間なき

クオリティジャーニー！！

みちのくEMS審査員／評価員／判定委員

土井 正治（メール）      madoi@train.ocn.ne.jp

・環境主任審査員（A14835）

・情報セキュリティ主任審査員（ISJ-A01928）